

令和5年度事業報告並びに付属明細書の承認について(決議事項)

令和 5 年度 公益財団法人網走監獄保存財団事業報告書

令和 5 年度の総括

昭和 58 年の博物館網走監獄開館から 41 年目となった令和 5 年度、新型コロナウイルスによる行動制限がなくなり観光需要、特にインバウンドの増加でコロナ以前の入館者数を確保することができました。1 月 25 日 26 日と猛吹雪による国道通行止めで臨時休館など開館日数は 362 日、有料入館者数は、222,629 人令和 5 年度入館者目標 22 万人を達成し対前年比 109.4%となりました。収益事業もミュージアムショップ事業・監獄食堂・賃貸料収入・販売委託手数料合わせ予算に対して 111%となり、公益事業・収益事業両事業収入は令和 5 年度計画を上回ることができました。

しかし、コロナ禍を経て人々の生活スタイルの変化やオンライン、バーチャル SNS など実際に現地へ足を運ばなくても知ることができる情報選択時代に入り、博物館運営においては人々の選択しうる情報が多く観光型博物館はデメリットもあります。

実物の持つ魅力や体感にバーチャルを凌ぐという気づきを多くの世代に認識してもらい来館を促すことが厳しい状況でもありました。

文化財建造物保存におきましては平成 31 年度耐震専門診断事業完了から様々な角度から調査を行い、その結果に基づいた補強計画案を 5 年かけて作成したところです。本事業につきましては、重要文化財耐震補強準備積立金として 1 億円積み増し致しました。令和 6 年 3 月末積立金は 3 億 7170 万円となり、目標の令和 8 年まで積立金積み増しを行います。今年度は実施設計を経て業者選定そして耐震工事に着手いたします。

今後も少子高齢化が進む国内で入館者の大幅な増加は難しい現状の中、海外インバウンドは円安で好調な伸びが期待できます。引き続き海外誘致に注力し安定的な入館料確保と持続可能な博物館「見て・聞いて・触れて・考える」博物館作りに向けて役職員一丸となって新たな事象に取り組んでまいります。

以下、令和 5 年度の重要課題別に事業詳細を報告いたします。

1 重要文化財の保存と価値を高める活用を図る

開館から 41 年、網走刑務所から移築復原した建造物 10 棟も年月が経過し、木造建造物の管理に日々注視し修繕作業の連続となり維持管理が難しい状態となってまいりましたが、持続可能性の観点から、耐震補強事業にとりかかるよう準備を進めてまいりました。ようやく基本設計の目途が整い、工事期間中の導線、見学出来ない建造物の保管措置としての VR 導入多言語化事業も完了、来観者に博物館の文化財を記憶から遠ざけないための文化財の魅力伝える情報発信に取り組んでまいりました。

(1)重要文化財二見ヶ岡刑務支所管理棟庁舎外壁塗装事業

平成11年12月の移築工事完成から23年が経過し、外壁板壁の剥落や野鳥や小動物による壁穴あきが多数見受けられるため二見ヶ岡庁舎棟のペンキ塗装並びに防腐塗装を施しました。

(2)重要文化財の維持にかかる防災体制の確立に取り組み、5月22日から26日まで漏電火災警報器の点検作業実施、10月24日の重要文化財月間に網走消防署、呼人消防団にご協力を頂き、教誨堂を火災出火場所に想定、放水や避難誘導、消火器を用いての消火活動など総合防災訓練を実施いたしました。職員には防火設備の点検と避難誘導などの日常管理に一層注視し、木造建造物の保存管理に努めております。

(3)建物見守り隊事業は、博物館友の会会員による「建物見守り隊」を結成し北海道文化財活用月間の10月に、建造物の清掃、イベントを実施しました。網走監獄の加算食は農作業を遅くまで行った受刑者に食べることが許された「でんぷん団子」です。そのでんぷん団子を二見ヶ岡農場の食堂を利用して来館者に振る舞いました。

あわせて展示解説なども実施しました。友の会会員も見守り隊の使命を認識し、重要文化財は網走市の宝であり守り続けていく責任があると理解し積極的に活動しております。今後も重要文化財デーのイベントを強化してまいります。

(4)耐震補強案工事実施に向け、事業時期、工期、特別積立金などの計画にとりかかり、積立金1億170万円を積み立ていたしました。

2 充実した博物館の運営を図る

コロナ禍の4年を経て博物館の見せ方も大きな変化がありました。従来の人と物を結び、生涯学習活動の拠点、交流の場として機能を求められた博物館は、今では世界中のどこにいてもオンラインでコンタクトが可能となり、実際に博物館に足を運ばなくても必要な情報が享受できる時代になりました。社会教育機関として情報を提供するという重要な役割を果たす一方で、博物館資料の持つ本物の魅力をバーチャルと違う効果を伝えなければ来館に繋がらない、相反する課題が生じた一年でした。

VRの技術を導入し、体感をリアルにする演出とは真逆に実物に触れる楽しさや新たな発見、気づきを来館者に現地で感じ満足度を上げるにはどうしたら良いかを探り続けま

した。ホームページ、YouTube 上で、詳しい解説が聞けるように多言語解説6ヶ国語の視聴が可能となり昨年より一歩ユニバーサルミュージアムに近づいたと自負しております。さらに入館ゲートの改修、園路、景観、車椅子、ベビーカー、傘などのハード、ソフト各種サービスをブラッシュアップし多様性に富んだ博物館づくりを進めてまいりました。

博物館の社会教育事業

(1)体験講座

野外博物館の特性を利用し、館内自生の胡桃を採取し、「胡桃染でエプロン作り」網走刑務所の木工、建築、革作業を紹介する「マガジンラック作り」「モザイルコースター作り」「キーリング作り」「麦わらのヒンメリ作り」などを行い小学生から大人まで幅広い層の参加がありました。博物館本来の本物に触れる感動と市民が集い語らう場としての博物館の教育事業がコロナから4年ぶりに全講座行うことができました。

(2)「看守長屋の年中行事」は網走刑務所看守長屋を会場に日本古来の伝統行事を再現し、博物館を訪れる全ての人を対象に実施。夏の七夕、秋の十五夜、正月絵馬作り、七草粥、鏡開き、節分、雛祭りとして7回の行事を行いました。4年ぶりに竹流しそうめんを行うことができました。大勢の来館者、外国人の方が、流しそうめんを味わい夏の日を楽しんでおられ、その日のツイッターアカウント、「いいね」は1万件をこえました。博物館で日本の風習や伝統行事に触れ、薄れかけた伝統や風習を再認識して頂くことを目的に開催しています。行事の様子を当館公式ツイッターでも発信しました。

(3)長期連続講座として網走刑務所の特徴である農業を主体に農園体験ワークショップを5月から11月まで8回にわたり開催し、収穫したカボチャと金時豆を使ってカボチャ団子、でんぷん団子を調理し参加者全員で味わいました。

(4)企画展事業

①5月から「明治少年監獄から少年刑務所その成り立ちと役割」展を開催しました。少年刑務所内での生活や一般刑務所以上に気を配られた充実した教育、職業訓練の様子を資料とともに伝えました。

②10月から「北海道集治監の典獄」展を開催しました。北海道集治監にあっては郡長、警察署長など地域の重要な役割を担っていたこと、網走監獄では北山墓地、三眺山の整備を行った大谷友次郎典獄を中心に各典獄の果たした役割を紹介しました。

(5)イベント事業

ゴールデンウィークイベントは、5月3日～4日までイベント広場にて、重要文化財スタンプラリー、明治の子供遊び、竹馬検定、射的、竹トンボ、竹笛作り、豆わらじ

作りの実施、友の会ボランティアによる紙芝居、餅つきと柏餅作りを行い来館者の皆様に柏餅の提供を行いました。9月の収穫祭は網走刑務所三眺神輿を無窮会の会員50名に担いでいただき館内を練り歩きが行われました。神輿担ぎを実際に見るのは初めてだと一緒に館内について歩く見学者もいました。昔懐かしいバナナの叩き売りの実演も芸人を東京から招き行いました。威勢の良い芸に笑いが絶えない収穫祭となりました。

(6) 博物館網走監獄友の会

博物館友の会は、監獄の歴史や建造物に興味のある方、博物館活動を支えるサポーターとして16年前から会員を募り現在個人会員51名、法人会員10法人が入会されています。5月の桜並木観桜会、7月中央道路二見慰霊碑清掃活動、10月重要文化財建物見守り隊活動、12月の鏡餅作りを実施しました。7月には「田んぼアート」地域の宝を守り発信する活動を視察する旭川、上川地区への日帰りバス研修旅行を実施しました。20名の会員の参加があり、会員同士の親睦を深めました。

(7) 解説事業

文化庁の重要文化財活用事業補助金を利用し、6カ国語の多言語解説とVRマーカーポート360度ウォークスルーを導入しました。この整備により歴史と秘めた空間の単なる来訪者から網走監獄物語の体感者へとより深い体験ができます。

3 展示建造物の維持管理並びに館内の環境整備を図る

アフターコロナを迎えた令和5年度でしたが、引き続き施設管理にはウイルス除去と清掃換気など徹底して行ってまいりました。

また、既存の固定資産が40年を経て老朽化が激しいため、軽微な修理補強、防腐剤塗料の塗布などを行い建造物の延命を図りました。耐震補強工事開始一年前となりましたので、工事期間のデメリットを軽減するため、野外ガーデンの整備に取り掛かり、既存の宿根草を秋に取り除き、土壌改良、土作りを行いました。令和6年6月には魅力的なバラのガーデンになる予定です。また、昨今の温暖化による自然災害への危機に備え、建造物回りの支障木の伐採、職員による建造物の劣化度調査の実施、防災訓練、消火設備の点検を行ってまいりました。冬期間の来館者対応にあずま屋の改修を行い利用者へのサービス満足度アップに取り組みました。

(1) 館内安全対策

- ① 設置から19年が経過した歴史館前階段改修を実施、木製階段に更新しました。
- ② 正門ゲートが設置から24年が経過しシャッターが閉まらないなど故障が生じ始めたことをきっかけに緊急事態が発生した場合、鍵を保有している者以外開けられないゲートを緊急時に備え、開放できるゲートに改修しました。
- ③ 正門ゲート改修に合わせて中央分離帯の前後に設置しているロードヒーティングの撤去とアスファルト舗装を行いました。
- ④ 凍上被害で割れや段差の激しい監獄食堂前と職員通用口の舗装を行いました。
- ⑤ 設置から40年、老朽化が著しいあずま屋を冬期間も来館者が休憩または、バス待合所として利用できるよう四方に可動式の壁と光が入るよう大きな窓を付けたあずま屋に改修しました。
- ⑥ ユニバーサルトイレの実現に向けて、男性トイレ2ヶ所におむつ交換可能なベビーシートを設置しました。

(2) 館内環境整備事業

- ① 野外博物館の特性を活かし、春、夏、秋のスリーシーズン花を絶やさないために宿根草ガーデン作りを始めて12年が経ち、花の寿命と苗の株分けなどにより当初のガーデンの姿から大きく変貌したため再整備に向け、イコロの森ガーデナーと打ち合わせを実施し、バラとクリスマスローズを中心としてガーデン構想に向けて、既存の株を撤去し、土壌改良と土作りを行いました。

引き続きガーデンキーパー2名を雇用し、ガーデン整備と敷地内樹木、支障樹木の伐採を行い、来館者を和ませる景観造り、緑地管理、明治の森造りの演出を行いました。

(3)維持管理事業

- ① 冬期除雪対策並びにガーデンの維持管理に使用するホイールローダー購入しました。
- ② 館内9施設のトイレ掃除を清掃会社に委託しました。
- ③ 冬期除雪対策として第1・2駐車場除雪を委託し開館時間前に駐車場確保に努めました。
- ④ 農園作業風景の演出に欠かせない野外展示人形は外で展示しているため劣化、破損が著しく、秋の撤去に合わせ23体の人形修繕、再塗装を行いました。

4 経営の安定を図るため入館者の確保と収益事業の強化

1・入館者の確保

令和5年度の博物館網走監獄入館者目標22万人に対し、222,629人と前年比109.4%と22万人の目標を上回ることができました。コロナウイルスが第5類に移行し、行動制限がなくなり旅行需要が拡大する期待を含めての入館者目標でしたが、昨年実施していた全国旅行支援北海道love割が終了したことで国内の伸びは昨年には及びませんでした。

しかしインバウンドがコロナ前同様に回復したことで入館者数を伸ばし目標達成することができました。特に台湾、香港、シンガポールなどの東アジア圏からのお客様が多く来館されました。入館者確保対策は、この数年、映画、バラエティ、旅行番組に関わらず露出の機会が多かったこと、特にゴールデンカムイの映画が上映されるなど施設知名度、興味度上昇に繋がったこと、7月から3月まで実施し好評だった博物館網走監獄生涯無料パスポート企画は、20名の獲得者ができました。お1人8ヶ月間で8回入館されるという条件をクリアした人が獲得できる企画でしたので、160回の入館を増やしたことになります。地味ではありますがこのような企画を重ねて広報活動に知恵を絞ってまいります。また2年前に発生した知床観光船の事故による影響で修学旅行は道東が敬遠されておりますので減少傾向が続く団体旅行誘致に係る旅行代理店への渉外活動については、旅行者の興味関心を引き付けるクオリティの高い体験メニューの開発に取り組みます。

- ① 入館者数は222,629名(前年度比109.4%)、入館料収入は301,914,710円になりました。(前年比109.9%)
- ② 個人型入館者誘致を目的とする情報発信手段としてインターネット・SNSの活用を推進し、NHKニュース、STV情報番組などにも取り上げられました。

- ③ テレビ・雑誌等のメディア取材に丁寧に対応し、北海道新聞・読売新聞全道面・共同通信 AIRDO 機内誌への掲載がありました。ドラマ、PV 撮影等を積極的に受け入れ、また地域団体ひがし北海道 DMO との広域的な宣伝など施設の露出頻度、話題づくりを進めました。
- ④ 来館者接遇事業
博物館の解説を、全体看板前で概要 5 分解説に切り替えて実施したため、従来よりも回数を多く実施することができました。しかし全ての展示物の内容を深く知りたいという見学者も多いことから VR ゴーグルの導入、多言語 6 カ国語の動画解説を制作し誰もが視聴できる整備を行いました。

2・収益事業の強化

繁忙期と閑散期の差が激しい当館は、通年雇用の継続も難しい状態ですが、少子高齢化で労働者を確保するには通年雇用が必須となり人件費が嵩むため収益事業の運営は苦戦しましたが、オリジナル新商品「監獄鮭とばの木箱」「監獄軍手」の開発による SNS のツイート、アクセスが増加しヤフーニュースにも取り上げられるなど、話題づくりの効果と北海道のハイグレード商品の取り扱いなど、監獄食堂においては冬期間台湾団体の特別メニューによる受け入れを行い目標の売り上げを確保することができました。

- (1) ミュージアムショップ売り上げ 38,308,590 円前年比 111%
- (2) 監獄食堂売り上げ 33,164,680 円前年比 113%
- (3) 賃貸料収入 6,537,120 円
- (4) 販売委託手数料 783,955 円 前年比 132%

・ 処 務 概 要

1・役員等に関する事項

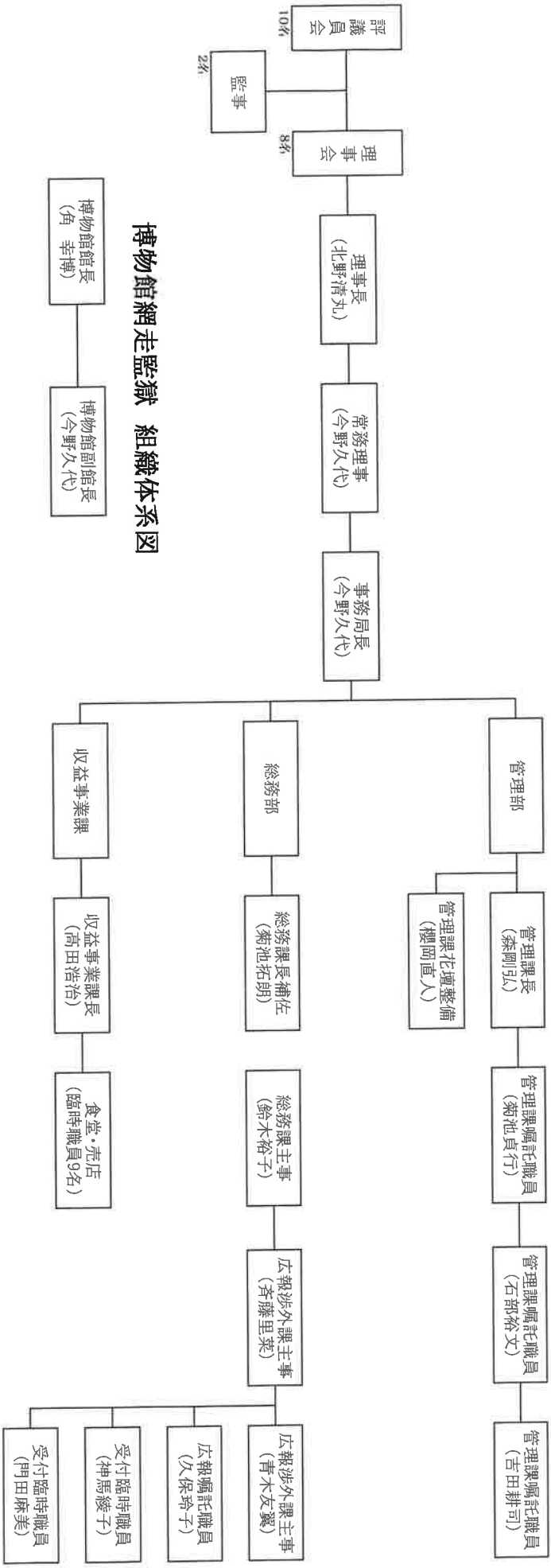
(1)就任状況等

令和5年度現在役員等

役 職 名	氏 名	当初就任年月日	就 任 年 月 日	担当職務	職 業
理 事	北野 清丸	平成16年5月6日	令和4年5月26日	理事長	財団役員
理 事	今野久代	令和2年11月25日	令和4年5月26日	常務理事	財団役員
理 事	新谷哲也	平成28年5月30日	令和4年5月26日		網走漁業協同組合組合長・会社役員 (漁業・不動産賃貸会社社長)
理 事	角幸博	平成28年5月30日	令和4年5月26日	博物館長	NPO法人役員・北海道大学名誉教授
理 事	大澤慶逸	平成28年5月30日	令和4年5月26日		元網走市副市長
理 事	吉田穂積	令和2年6月22日	令和4年5月26日		大学教授(東京農業大学)
理 事	本間弘哉	令和2年6月22日	令和4年5月26日		会社役員(機械整備会社社長)
理 事	石川康弘	令和2年6月22日	令和4年5月26日		農 業
監 事	松井 丈	平成28年5月30日	令和4年5月26日		会社役員(印刷会社社長)
監 事	中川大	平成22年6月3日	令和4年5月26日		会社役員(機械工具・配管資材卸小売 会社相談役)
評 議 員	藤原孝一	平成16年5月26日	令和2年6月22日		会社役員(測量設計・不動産会社社 長)
評 議 員	東義真	平成16年5月26日	令和2年6月22日		僧侶・幼稚園園長
評 議 員	松下伸次	平成20年6月5日	令和2年6月22日		会社役員(ホテル社長)
評 議 員	小澤友基隆	平成28年6月21日	令和2年6月22日		会社役員(バス会社社長)
評 議 員	新谷光一	平成28年6月21日	令和2年6月22日		会社役員(燃料会社社長)
評 議 員	土屋善治郎	令和2年6月22日	令和2年6月22日		会社役員(建設会社社長)
評 議 員	白濱敏	令和2年6月22日	令和2年6月22日		団体役員(商工会議所専務理事)
評 議 員	木下研一	令和2年6月22日	令和2年6月22日		会社役員(木材工業社長)
評 議 員	菊地美鈴	令和2年6月22日	令和2年6月22日		社会福祉法人保育園事務長
評 議 員	川瀬敏朗	令和2年6月22日	令和2年6月22日		弁護士法人オホーツク北斗代表

公益財団法人網走監獄保存財団 組織体系図

現況(令和6年4月)



博物館網走監獄 組織体系図



(臨時・パート職員は、最大時の人数)

3・役員会に関する事項

(1) 理事会

開 会 月 日	議 事 事 項
令和5年3月6日	①令和4年度収支見込について(報告事項) ②令和4年度の収支予算の補正について 可決承認 ③令和5年度事業計画(案)について～可決承認 ④令和5年度収支予算(案)について～可決承認 ⑤令和5年度第1回臨時評議員会の開催について～可決承認
令和5年5月17日	①常勤理事(理事長・業務執行理事)の業務執行状況の報告(了承事項) ②財団と役員が取引について(承認事項) ③令和4年度事業報告及び附属明細書について～可決承認 ④令和4年度貸借対照表及び損益計算書(正味財産増減 計算書)及びこれらの附属明細書並びに財産目録)の承認について～可決承認 ⑤令和5年度定時評議員会の開催について(決議事項)～可決承認 ⑥その他
令和5年10月30日	①代表理事常務理事の職務執行状況について(了承事項) ②令和5年度上半期の業況について ③財団と役員が取引について(承認事項) ⑤令和5年度臨時評議員会の開催について(決議事項)～可決承認

(1) 評議員会

開 会 月 日	議 事 事 項
令和5年3月20日	①令和4年度収支見込について(報告事項) ②令和4年度の収支予算の補正について 可決承認 ③令和5年度事業計画(案)について～可決承認 ④令和5年度収支予算(案)について～可決承認
令和5年6月2日	①常勤理事(理事長・業務執行理事)の業務執行状況の報告(了承事項) ②財団と役員が取引について(承認事項) ③令和4年度事業報告及び附属明細書について～可決承認 ④令和4年度貸借対照表及び損益計算書(正味財産増減 計算書)及びこれらの附属明細書並びに財産目録)の承認について～可決承認
令和5年11月6日	①代表理事常務理事の職務執行状況について(了承事項) ②令和5年上半期の業況について(了承事項) ③財団と役員が取引について(承認事項)

4・許認可及び承認に関する事項 特になし

5・契約に関する事項

契約年月日	相手方	契約の概要

令和5年4月1日	吉村みやげ店	建物賃貸借契約更新(契約期限 令和6年3月31日)
令和5年4月1日	(株)カンコーサービス	建物賃貸借契約更新(契約期限 令和6年3月31日)
令和5年4月1日	(有)マリン北海道	建物賃貸借契約更新(契約期限 令和6年3月31日)
令和5年4月1日	(株)写真工芸社	建物賃貸借契約更新(契約期限 令和6年3月31日)
令和5年4月1日	北海道キリンビバレッジ(株)・北見ヤクルト販売(株)	自動販売機設置契約書(契約期限 令和6年3月31日)
令和5年4月1日	(株)日本旅行	旅客幹旋基本契約更新(契約期限 令和6年3月31日)
令和5年4月1日	(株)エスイーシー	売店POSシステム保守契約(契約期限 自動更新)
令和5年4月1日	日本私立学校振興共済事業団	施設利用契約書更新(契約期限 令和6年3月31日)
令和5年4月1日	清掃工房株式会社	トイレ清掃・業務委託契約(契約期限 令和6年3月31日)
令和5年4月1日	公益財団法人矯正協会	刑務所作業製品の展示・販売に関する協定書更新(契約期限 令和6年3月31日)
令和5年4月1日	KNT-CTホールディングス(株)	観光券契約(契約期限 令和6年3月31日)
令和5年5月1日	ホシザキ北海道(株)	ミュージアムショップ用冷凍冷蔵庫製氷機保守契約更新(契約期限 令和6年4月30日)
令和5年7月3日	北海道電力(株)北見支社	電気需要契約(契約期限 令和6年7月2日)
令和5年4月1日	T-LIFEホールディングス(株)	観光券契約(契約期限 令和6年3月31日)
令和5年1月1日	(株)阪急交通社	旅客幹旋契約(契約期限 令和6年9月30日)
令和5年4月30日	北海道コココーラボトリング	売店飲料ディスプレイ契約(契約期限 令和6年4月30日)

6. 寄附に関する事項 特になし
7. 主務官庁の指示に関する事項 特になし
8. 会計に関する事項 公認会計士の関与の有無 無
9. 税法上の収益事業に関する事項 商品販売……来館記念品・刑務作業製品・書籍の販売
レストラン……休憩施設内の食堂の営業
不動産賃貸…施設内物品販売コーナーのテナント賃貸料収入(3業者)
10. 株式の保有に関する事項 保有していない
11. その他の事項 公益目的事業会計から収益事業等会計へ、40百万円他会計長期貸付実施。毎月330千円の10年払で完済の計画でしたが令和2年度はコロナにより一年間返済を猶予した為、令和9年3月完済予定に変更